

<p style="text-align: center;">プレゼンテーション英語 (Presentation in English)</p>	<p style="text-align: center;">2 年 ・ 後 期 ・ 2 単 位 ・ 選 択 必 修 3 専 攻 共 通 担 当 金 澤 直 志</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-2 (80%) , D-1 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 f, d-2a</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>聴衆を意識し、その聴衆を納得させる「内容の『見せ方』」を、欧米では「大学への授業準備」として高校で叩き込まれる。残念ながら、日本では「言葉を武器」として利用する方法が系統だった教科として確立されず、体験的(主観的)にプレゼンテーションを行っている場合が多い。すばらしい内容を聴衆が求めている『見せ方』であらわせば、決して、聴衆は内容を取り違えることなく、発表者の意図も間違いなく正確に伝わる。</p> <p>発せられる英語(読む英語、聞く英語)に畏縮することなく、発する英語(話す英語、書く英語)に自信を持ち、英語を利用することで、論理的科学的に自分自身について表現する能力を高めることにつなげる。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>学生自身が必要とする英語表現に出会い、一つでも多く英語での自己表現の方法を蓄積していった欲しい。自分で学ぶ習慣をつけることを忘れないで欲しい。このプレゼンテーション対策では、英語を学ぶ上で重要な事項が多いので、一つでも多くの表現を蓄積していった欲しい。映画や音楽教材もプレゼンテーション対策として利用することで、英語でのものの考え方を培っていききたい。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>日々、学ぶ習慣を身につけてほしい。日々、英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。授業では、その成果を発表し解説を聞き、訂正を行う場となる。一日に何度辞書を引いたか自分に問いかけて欲しい。もちろん、授業では英和・和英・同義語辞典を必ず利用しなければならない。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> + 基礎的な語彙力と英文法事項を習得・確認することができる + 英語らしい表現パターンを習得することができる + 表現パターンに基づく英文を書くことができるようになることができる + 基本的な英文を用いることで、英語による基礎的コミュニケーションが円滑に行えるようになることができる 		
<p>〔自己学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の学ぶ習慣を充実させ、自分自身で「知りたい」ことをみつけられるようにすること! ・ 読み手や聞き手を納得させるように、論理的科学的に英語で自分自身の考えを表現できるようになること! 		
<p>〔評価方法〕</p> <p>Class Participation (25%) / Tests (30%) / Handouts (45%)</p>		
<p>〔教科書〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Handouts を配布する 		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション英語 ・ 週刊で発行されている学生用英字新聞を読むこと。 ・ 日本語でも新聞を読むこと。 ・ できるだけ英語でニュースを聞くこと 		

授業計画

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
1 週	Introduction of this class, and resenstation of Movie 1-1	講義の説明、メディアを聞き取ることができる	
2 週	Movie 1-2	教材に関する解説が理解できる	
3 週	Movie 1-3	教材に関する解説が理解できる	
4 週	Writing 1	英文の書き方の骨子が理解できる	
5 週	Writing 2	承の役割が理解できる	
6 週	Writing 3	結の役割が理解できる	
7 週	Writing 4	起の役割が理解できる	
8 週	Writing 5	転の役割が理解できる	
9 週	Advertisement 1	メディアを聞き取ることができる	
10 週	Advertisement 2	教材に関する解説が理解できる。	
11 週	Advertisement 3	教材に関する解説が理解できる。	
12 週	Writing 5	まとまった文章を書くことができる	
13 週	Writing 6	まとまった文章を書くことができる	
14 週	Writing 7	まとまった文章を書くことができる	
15 週	Review	復習	
後期末試験			

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.